

予納額の残余に相当する額の返還請求書の作成例

[書 式 1]

予納額の残余に相当する額の返還請求書	
令和△△年△△月△△日	
特許庁長官	殿
1 予納台帳番号	△△△△△△
2 返還請求人	
識別番号	△△△△△△△△△
住所又は居所	東京都××区××△丁目△番△号
氏名又は名称	××株式会社
代表者	×× 一郎
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
3 返還請求金額(残余に相当する額)	△△, △△△ 円
4 返還金の振込先	
金融機関名	××銀行(金庫) ××支店
口座番号(普通)当座	△△△△△△△
(コウザメイギニン)	(××カブシキガイシャ)
口座名義人	××株式会社
(5 添付書類の目録)	
((1)予納届をした者の地位を承継したことを証明する書面	通)

[注意事項]

- 返還請求人の欄には、予納台帳に係る予納者を記載してください。
ただし、予納届をした者が死亡又は予納届をした法人が合併により消滅した場合は、その地位を承継した承継人を返還請求人として記載します。
- 返還請求金額(残余に相当する額)の欄には、予納額の残余に相当する額を記載します。
- 口座名義人と返還請求人は同一人でなければなりません。
- 口座名義人の欄には必ず、片仮名で振り仮名を記載してください。
- 予納届をした者の地位を承継した者が返還請求をする場合には、添付書類の目録の欄を設けて、添付する書面の書類名及び通数を記載し、地位の承継を証明する書面を添付します。なお、予納届をした者自身が返還請求する場合には、添付書類の目録の欄を設けるには及びません。
- 電話番号はなるべく記載してください。